

第 25 号

発行  
富士市消防団

富士市永田町1丁目100番地  
電話(0545)55-2851  
(0545)55-2852  
FAX(0545)53-4633



# 消防団だより

## 市長インタビュー 消防団広報紙編集委員



広報紙編集委員では、減少を続ける団員を確保するために、富士市のトップである小長井義正市長に消防団についての考えをお聞きしました。

○委員―市長が消防団に期待することをお聞かせください。

○市長―年間を通して火災予防、台風訓練等で活動してくれていることに感謝しています。

大きな災害が発生した際に、地元消防団が迅速に活動することで、多くの市民が助かることを考えると、地域住民のため、まちづくりのため、消防団の存在は大切だと思います。これから地域住民との連携を密にして、顔の見える活動を続けていただきたいと思っています。

○委員―消防団では若い団員を確保することに苦慮していますが、団員確保について市長のご意見をお聞かせください。

○市長―まちづくり協議会や自主防災組織との関係を強化し、各地域が団員を確保することが基本だと思います。また、各種団体へのアプローチをもっと積極的に行うことが必要ではないでしょうか。

たとえば、消防団協力事業所の制度を広く知ってもらい、地元企業に消防団活動を理解してもらおうことです。事業所の協力があれば、入団や活動がしやすくなります。

消防団と事業所との協力体制が構築されれば、事業所の社会貢献が広く認められるだけでなく、地域の防災力の強化にもつながると思います。

○委員―今年度、富士市に女性消防団員が誕生し、今後も増員していきたいと思っておりますが、女性消防団員の入団についてどう思いますか。

○市長―四名の女性が入団したことは大変喜ばしいことと思います。今後は女性消防団員がさらに増え、さまざまな場面で活躍することを期待しています。

○委員―本日はお忙しいところ貴重な時間をいただき、ありがとうございました。

○市長―消防団員の皆様がいるおかげで、市民は安心して生活できます。消防団の活動は大変だと思えますが、家族、仕事、仲間を大切に、そして何より自らの命を大切にしてください。

〈取材者〉  
鈴木委員長(進行)・鈴木(写真)・佐野(書記)・渡邊副委員長(編集)・小林副団長(オブザーバー)



消防長賞「消防団に敬礼。」立田雅夫



防火協会賞「集中放水」荻田長蔵

### 平成27年 富士市消防出初式 写真コンテスト 優秀作品



市長賞「精魂込めて」小林康男



議長賞「穏やかなラスト」加藤供子



消防団賞「和む出番前」森 初雄



# 村松消防団長就任



## 消防団長就任の挨拶

団長 村松 茂美  
厚原 在住

平成二十六年四月二日付をもちまして第十九代富士市消防団長に就任いたしました。団長就任にあたり、ご挨拶を申し上げます。

消防団員の皆様には、常日頃より災害対応、訓練等ご尽力いただき感謝しております。また、市民の皆様や団員家族の皆様には、消防行政にご理解をいただきまして、心から厚く御礼を申し上げます。

平成二十六年度を振り返ると、長野県北部を震源にした長野県神城断層地震や台風十八号に見られるように、大規模な自然災害が頻発しており、予想し難い災害や事故に対処する必要が迫られています。

このような状況下、いざ災害が発生した際に、地域住民の力とともに地域防災の代表である消防団員にかせられる期待は大きいです。今後も今以上に地域との連携をはかり、総合的な防災力強化に努めていきたいと思っております。

さて、今年度富士市消防団に初の女性消防団員が入団しました。本市では女性も地元分団に所属し、災害活動、広報活動、防災訓練、住宅防火診断や普通救命講習など、男性同様に活躍しています。

今後も地域に密着した活動を続け、消防団の活性化につながるよう消防団活動に取り組んでほしいです。

結びにあたり、われわれ消防団は、「自分たちのまちは自分たちで守る」という郷土愛護の理念と、地域住民の皆様様の生命、身体、財産を災害から守るといふ、崇高な使命をもって活動しています。今後も団員一丸となって、富士市民の皆様から信頼され、頼りにされる消防団となるべく、日頃の訓練に励み、災害の無い明るい豊かな地域づくりに貢献して参ります。



## 出初式



### 緊張の朝(こ)から始まる

第28分団 団員 大久保規子  
大久保電気工事 勤務

消防団勤続二十年以上の主人と結婚十五年目を迎える私。毎年欠かさず消防出初式を拝見してきました。そして現在では二人いる息子達と見に行くのが、恒例行事でした。そして今年、富士市消防団の「員」として隊列に並んだ主人と私を見に来てくれた家族。照れくさいような、緊張するような、張り詰めた新鮮な朝となりました。

今までは応援しているだけの立場でしたが、実際所属してみると知らないことだらけ、出来ない事だらけで、先輩消防団員の皆様方の日頃の活動に脱帽するばかり。統率のとれた、機敏な動きが出来るのも訓練あってこそだと、実感しました。

総勢八百五十名の富士市消防団。まだまだ団員は不足しています。「こんな小さな力でも何かの役に立てたら」そう思い一員としてスタートしたばかりの自分に、何が出来るのか未知数ですが、一つ一つ経験し、積み上げてい

きたいと決意した富士市消防出初式でした。先輩消防団員の皆様、宜しくお願ひします。そして我が街「富士市」に沢山の新しい力が加わってくれますことを願っております。



### 平成二十七年富士市消防出初式

—直前の欠席—

第26分団 分団長 高橋 英則  
宮下 在住

分団長になって八回目の出初式を迎えることになり、今年も一年消防活動を再確認する場ができたと思っていましたが、その思いは前日からの喉の痛み、寒気などの体調不良で断念せざるを得なくなりました。

当日五時三十分不起床、体温測定三十八度五分、しばらく考えてから「ダメかー」(もし流行のインフルエンザなら皆に迷惑をかけることになる)緊急連絡網で第五方面隊長、二十六分団幹部に状況を至急連絡し、対応をお願いしました。特に、観閲を受けることと、分列行進は気がかりであった

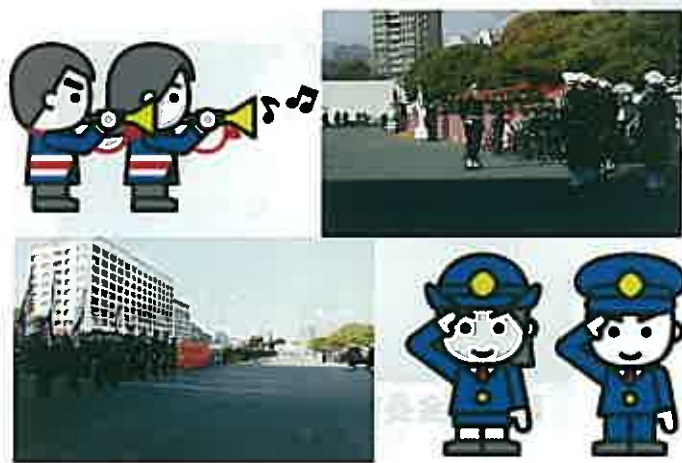
が、皆さんのおかげで代役を立てることができ、安堵しました。

自宅の布団の中で、今まで参加した出初式の時系列で思い浮かべながら、今、八時三十分 開会宣言した。八時四十分 観閲がはじまった。十時 分列行進の頃かな。十二時三十分 斉放水、消防へり来たかな。

十二時「苦勞さん、終わったな。」自分の体調管理ができなかったことを悔やみ、仲間たちが私の穴埋めをしてくれ、対応してくれたことに感謝し、改めて「絆」の大切さに気づかされた一日でありました。

「体調管理は最優先!」このことを今年の目標に掲げ、仲間を大切に思い、この一年間消防活動に従事していく決意を新たにしました。

結びに、災害は必ず来ます。関係する皆さんが、個々の自助・仲間との共助・そして行政の公助 このことを考え、災害に備えていく一年になればと思います。



# 富士市消防団訓練礼式 並びに消防操法訓練大会



富士市消防訓練大会を終えて

第23分団 部長 若月 和浩

株式会社 若月 和浩

平成二十六年七月八日に富士市消防訓練大会が開かれました。二十三分団は、ポンプ車操法に出場し、自分にとっては二回目となる大会でした。

前回は、覚えることの多い三番員で、まだ若かったせいも、大変で嫌だなど思っていました。しかし、今回は指揮者という大役をまかされ、前回と違う気持ちで訓練をすることができました。

大会当日は緊張しましたが、自分なりに精一杯できたと思います。

訓練は、四月から始まりましたが、優勝とか考えず、とにかく覚えることが精一杯で、二十三分団の方、指導員の方にたびたび迷惑をおかけしました。水利や準備の方でも方面隊長をはじめ、各分団の方に大変お世話になりました。ありがとうございます。ホース巻きに関しては、二十三分団の団員が嫌な顔をせずに一生懸命やってくれました。

今回の優勝は、六方面隊全員でとったものだと思います。

富士支部大会が来年あります。富士市代表として出場しますので、選手一同頑張りたいと思います。また、指導員の方、富士市消防団員の方にお世話になります。何卒よろしくお祈りします。

この大会を終えて、指揮者として成長することができ、この経験を実際の火災現場で役立てていきたいと思っています。



消防操法訓練大会を振り返って

第28分団 部長 杉尾 雄司

株式会社 杉尾 雄司

まだ寒さを感じる三月の初めから、少し身体を動かすだけで汗ばんでしまう初夏までの間、操法大会に向けて訓練を重ねてきました。

小型ポンプ操法の部、第七方面隊代表として優勝できた事は、この上ない喜びを感じております。

私は指揮者をやらせてもらいましたが、一番員佐野満大、二番員太田勝巳、三番員岩淵裕、補助員望月啓史の素晴らしい四名と分団長をはじめとする分団の仲間達に支えられて、この様な栄光をつかみ取る事ができました。全員がそれぞれ全く違う仕事を持

ち、時には疲れがピークに達し、心が折れそうになった時でも、一丸となって訓練に励めた事は、一生の思い出になると思います。

今度は来春より富士支部消防団査閲大会に向けての訓練が始まります。富士市消防団代表として、立派な成績を収める事が出来る様、また全員で頑張っていきます。

結びに、訓練において熱心に指導して下さった指導員の方々、七方面隊長、各分団長をはじめ分団のみなさん、そして何より選手を支えて下さった家族に対して心より感謝申し上げます。これからも応援のほどよろしくお願ひ申し上げます。



訓練礼式指揮者

第11分団 副分団長 山本 秀規

間門町 在住

「訓練礼式指揮者」長い消防団活動において最も引受けたくない任務でしたが、指名を受け、その責任の重さ、体力的な問題等不安な毎日の始まりです。

周りから「優勝するしかないね」「優勝するとおまけがいっぱいついてく

るよ！」等、無責任な雑音が聞こえてきました。しかし、大会の日は決まっているのでとりあえず体調を整えなければと、朝夕のウォーキングを始めました。そして迎えた最初の練習でヤル気いっぱい目目が輝いている若い選手の前に立った時、優勝を目指してヤルしかないという覚悟ができました。

方面隊の練習は雨で十分できませんでしたが、選手たちは各分団詰所で先輩たちの指導の下、納得できるまで練習をしてくれましたので、全体の練習が始まった時には、ひと通りできる状態でスタートすることができました。

それからは指導員の皆様の丁寧で解りやすい指導のもと、回を重ねることに上達するのが目に見えてわかりました。「あとは指揮者次第だ」、そんな声が聞こえ、私のプレッシャーは増大する一方でしたが、なんとか最高の結果で終わる事ができ、達成感と満足感にひたる事ができました。優勝旗は選手が一致団結して手に入れたものですが、方面隊の皆様のご協力、応援そして指導員の皆様のご指導なくして得られるものではありません。選手を代表してお礼申し上げます。

今後、出初式での披露、富士支部大会への出場とより高い課題が待っていますが、富士市代表として精一杯頑張るつもりです。

## 平成27年度大会予定

富士支部消防団員

消防操法及び訓練礼式査閲大会

開催日 平成27年7月5日(日)

場所 富士宮市

第三十五回静岡県消防操法大会

開催日 平成27年9月13日(日)

場所 静岡市 静岡県消防学校

### 家族に感謝

#### 主人が消防団員になって

第22分団 団員家族 鈴木 佳苗

厚原中区 在住

去年の二月に主人が消防分団に入団して、一年半が経ちました。

初めは、なにをするのか全く分からずみなさんの足手まといになっていないか、とても心配でしたが、二十二分団の方々が、とても優しく、分かりやすく指導して下さっているとの話を聞き、安心しました。

この二年間は覚えることが多く大変だったと思いますが、二十二分団の方々のおかげで、少しずつ消防分団のことが分かるようになり、今では消防活動を楽しみにしている主人です。

子供達もそんな主人のことをかっこよく思っているようで、夜警の時、主人の当番でない日も家の前を通らないのに外を気にして何回も見たり、初めて参加した消防出初式で、一斉放水の時に前に立って放水している主人の姿を見て、目をキラキラ輝かせて見ていました。

また、一月下旬に出演させて頂いたラジオでは、窓越しにラジオで話している主人を見て嬉しそうにしていた子供たち。家では、かっこいいと言わないけど、消防の制服を着て活動している主人はかっこいいようで、「いつ消防あるの?」と今では子供たちも消防活動の日を楽しみに待っているようです。そんな主人を見て、幼稚園の息子は、「大きくならたら、パパと一緒に消防やる」と今からはりきっています。

ただ、火事の現場に出動する時は、とても心配になり、帰ってくるまで、「大丈夫かな?」と、気になります。現場で頑張っていると思うと、すごい本当に尊敬します。これからもケガには気を付けて頑張ってもらいたいと思います。

いずれ、操法訓練大会に出場したいと思っている主人を、家族みんなでサポートし、少しでも上の大会に出てもらいたいです。そして、消防をやっているかっこいい姿の主人を子供たちと見に行きたいです。

いつまでも子供たちの憧れるパパでいてくれたらいいなと思います。



### 家族旅行

第19分団 団員 影山 寛

松岡 在住

日ごろ家族の行事らしいことが、仕事や消防団活動などでできなかったため、九月の三連休に家族で山梨にぶどう狩り&温泉旅行に行ってみました。わりと近場ではありましたが、とても思い出しに残る旅でした。

今年のぶどうは昨年よりも味や粒の出来が良いということで、園には、たわわに実ったぶどうがぎっしり並んでいました。子供たちは、早く食べたいとはしゃいでいましたが、自分たちの食べる分は自分たちで収穫をと、ぶどう狩りをすることにしました。

生まれて初めての経験に、まずは「主人から収穫の手ほどきを受け、子供たちは、ちよつと緊張気味にハサミを握ります。娘はお兄ちゃんに収穫を羨ましそうに、またハラハラしながら眺めていました。

本来ぶどう棚は比較的高い位置にあります。子供たちが楽しめるように、この園では低い棚も作られています。

子供たちでも難なく収穫ができます。娘はもつと低い棚で挑戦です。お兄ちゃん「甲斐乙女」娘は「ピオーネ」をゲットしました。その後、フレッシュなぶどうに舌鼓を打ったことは言うまでもなく、持ち帰り分までぶどう狩りを楽しみました。

一汗かいた後には温泉が付きもの。勝沼から車で二十分程の山の中腹にある「ほつたらかし温泉」へ。ここは前から一度は訪れてみたかった絶景を楽しめる温泉です。評判どおり秋晴れの中、甲府盆地から富士山が一望・・・とは行かず、霊峰は雲の中でした。でも気持ちよかったです。

私と妻は絶景温泉に満足、子供たちはぶどう狩りに大満足な家族の旅でした。家族の絆も深まり、今後も消防団活動に家族の協力が得られそうです。



### 残念・・・雨

#### ソフトボール大会

第18分団 団員 石田 彰

小須 在住

ポンプ車操法・礼式訓練大会も終わりの次の大会と言えばソフトボール大会があります。訓練大会ではあまりよい成績は取れなかったのですが、ソフトボール大会では、優勝に向けてやる気満々で練習したりランニングしたりとがんばっていました。

しかし、大会二週間前より天気予報で当日は雨の予報。「週間天気予報はあまりあてにならない」と練習や体力作りを続けてきました。前日から天気は雨。夜も止む気配は無く、早朝まで降り続き、大会中止の連絡がありました。

昨年はよい結果ではなかった。「今年こそ!」とがんばってきましたが練習・体力作りの成果を発揮することなくソフトボール大会は終わってしまいました。残念と言えはそれまでですが、せつかく身につけた体力をただ失くしていくのは勿体ないので、その体力を維持し、また練習でまとまったチーム力を消防団活動に活かして行けるようにしたいと思います。

### 応急手当普及員講習

第31分団 分団長 佐野 幸壽

北松野 在住

日程は、かなり厳しいものがありました。が無事終了できたことに達成感を持つことができました。

普及員資格を持ち受講を担う立場になるといことは、「高度な医療行為や知識が求められるのではないかと、不安を抱えて講習に臨みましたが、傷病者を救うためには般の人でも出来ることを冷静に的確に行うことが大事であることを理解しました。傷病者を発見したとき、救急車を呼ぶことだけでも立派な救命行為です。救急車が到着するまでの限られた時間にAED等を用いた心肺蘇生の処置を行うことで、救命の確率を上げることができるといことを念頭に入れて、普及員活動を行いたいと思います。

私だけでなく、今回新たに普及員資格をとった団員も講習を行うにあたっては初めてのことであり、上手な説明や指導ができないかもしれませんが、人の命を救いたいという意思は消防団員全員が持っていることだと思います。その意思を大切に、一緒に救命講習を充実したものにしたいだけだと思います。

今回、三日間講習をしていただき、した消防署員の方々の実際の現場での体験談や丁寧な救命指導に対し厚く御礼を申し上げます。



### 三輪消防車

〈製造〉合名会社 市原唧筒諸機械製作所  
 〈製造年月〉昭和31年1月  
 〈ポンプ型式〉52000  
 〈放水量〉550米ガロン  
 ※2,000リットル(毎分)  
 〈圧力〉120ポンド  
 ※8.4キロ/cm<sup>2</sup> 約0.82MPa

富士市消防団  
 三輪消防車復興プロジェクト



## 第28回 消防まつり

### Fire Fighting Festival

#### 消防まつり

第14分団

団員 中島 真麻

CFS「コーポレーション」勤務

女性消防団員として入団してから早いもので半年が経ちました。まだまだ分からない事ばかりで不安や焦りもありますが、分団の方々の親切丁寧な御指導のおかげで活動することが出来ています。私達女性消防団員は日頃の活動はもちろんの事ですが、まずは女性団員の数を増やしていく事から始まっています。今現在の女性消防団員は四名とまだまだ少ないですが、どうすれば団員数が増えるか?という問題を試行錯誤しています。

年間行事の中で、一番市民の皆様アピール出来るのは消防まつりではないかと思いましたが。入団当初は、活動着を着て分団の方々と居るとき「女の人?」と言われることに、抵抗もありました。が、半年経った今では「女性を増やす為に」という思い、また「女性を入れたら」という思いをアピールし、「二人でも多くの市民の皆様には、女性消防団員の存在を知って頂きたい」と思っています。

このような思いもあり、昨年まではお客さんとして足を運んでいた消防まつりでしたが、今年は消防団員として胸を熱くして参加させて頂きました。

分団での活動がメインでしたが、男性同様「女性も活動着を着ている」という事だけでも充分アピールできたのではないかと思います。何より嬉しかったのは、他の分団の方々に挨拶をして頂いた事、そしてそんな私の姿を見ていたお客さんに「これから頑張ってください」とお声をかけて頂いた事です。

今改めて振り返ると、私がこのように活動出来るのは、分団の方々の支えや協力があるからだと思います。私は自分が所属するこの分団が大好きです。消防まつりは、地域の皆様との交流で家族

サービスができるイベントだと感じました。消防まつりを、これからも良い形で残していけたらいいと思います。



#### 雨の消防まつり

第29分団

部長 常盤 浩樹  
富士川 在住

前日の天気予報では雨との予報。昨年にも雨に降られ、今年もかと思っていました。我々二十九分団はどの分団よりも早く会場入りし、テント設営を済ませ、蒸し器やコンロを運びました。その時、雨が降り始めました。

雨は段々強くなり、ステージ前に並べられていた観客用の椅子を今度は片付け始めているのが見えました。せっかく仕度したのにお客さんが来ないかもしれないと思ながらも開店準備を進めていました。

雨の中、お客さんも少しずつ増えはじめ、売行きも順調とまでは行かないものの用意した材料が残らなければ良いと思しながらの開店です!

次第に雨も止み始め、いつもの消防まつりの雰囲気になって来ました。周りの分団は大きく派手な飾りつけで人目を引いていましたが、我々の所は

ちよつと地味目です。その分笑顔と愛嬌と満点のサービスで頑張りました。皿百円のコロッケを買ってくれたら、おまけをつけたりして。  
 「あんまんも揚げると美味しいんですよ、来年もたぶん揚げると思っていますので、どうぞ皆さんいらっしやうて下さいね。ただし、早めに来てくれないと品切れになってしまいますのでご注意ください。その時は別のものを揚げますのでご要望下さい、こんなこと出来るのはうちしかありません。」  
 皆さん来年の消防まつりも是非、二十九分団にお越し下さい。素敵な団員がお待ちしています。



### 防火ポスター-中学生の部優秀賞

- |       |       |         |
|-------|-------|---------|
| 市長賞   | 渡邊 葵泉 | 岳陽中学校   |
| 議長賞   | 軍地 佑介 | 富士中学校   |
| 教育長賞  | 紺井すみれ | 吉原東中学校  |
| 消防長賞  | 松永 芽里 | 大淵中学校   |
| 消防団長賞 | 駒谷 一郎 | 田子浦中学校  |
| 防火協会賞 | 三浦 萌江 | 吉原第一中学校 |
| 防火協会賞 | 時田 好典 | 富士中学校   |



防火ポスター-市長賞(中学生)



防火ポスター-市長賞(小学生)

### 防火ポスター-小学生の部優秀賞

- |       |       |         |
|-------|-------|---------|
| 市長賞   | 谷口 優花 | 大淵第一小学校 |
| 議長賞   | 関口 遥香 | 原田小学校   |
| 教育長賞  | 金子 翔  | 富士中央小学校 |
| 消防長賞  | 浦田 眞暖 | 元吉原小学校  |
| 消防団長賞 | 久保田 颯 | 吉原小学校   |
| 防火協会賞 | 松村 朱璃 | 吉永第一小学校 |
| 防火協会賞 | 小山 雄士 | 富士第一小学校 |

### 消防まつり出店コンクール 優秀分団

- 第11分団 草もち
- 第8分団 やきそば、うどん、そば、落書せんべい
- 第28分団 海鮮やきそば
- 第23分団 ラーメン
- まとい会 蔵出しバザー

#### 消防まつり

第11分団 分団長 佐藤 孝  
桑崎町 在住

十一月九日に第二十八回消防まつりが秋季火災予防運動の環として行われました。

今年朝から雨で準備中どうなるかと、心配しながら皆手際良く支度をす。開会式になって、雨もひどくなり市民の皆さんが来てくれるか心配でした。

思えば、四月のもち草取りから始まる。団員・家族の協力を得て「日もち草取り」もち草のあく取り・冷凍保存する。今年の色はどうか、香りはどうかなどもちの出来上がりを楽しみながら。

前日には団員・団員家族でもち米を洗い、あんをひとつひとつ丸くする、みんな明日の天気のこと、お客さんが大勢来てくれるだろうか、長行列が出来て待たせてしまわないだろうか、毎年のことながら段取りを話しながら和をもつて役割を確認する。

当日は、雨で市民の出足を心配しながらお互い助け合いながら準備をする。蒸しが一番大事で、いつもお世話になっている中央署にお湯をもらいに行く団員。



雨のためお客さんの出足が悪い分余裕が生まれ、段取りの良さも手伝って長い行列もできず順調に進む。奥さん方女性陣は、毎年休む間もなくもちを丸めていく、いつも他の分団の出店を見に行けないと言われてしまいます。ただただ感謝するのみです。前回からは、地元の小学校にご協力いただき、生徒さんの防火ホスターの発表の場としています。消防団に少しでも興味を持ってもらうことを期待しています。生徒さんにも好評で続けていきたいと思っています。

消防まつりという通常の消防団活動とは違った雰囲気の中、団員同士や家族のつながりを持てる「大行事」です。お互いの助け合い、おもいやりが十年余り連続「出店コンクール優秀賞」受賞という結果に結びついていると思います。先輩から受け継いだ十二分団の後輩につなげ、これからの活動に生かしてくれば良いと思います。十二分団の団員・家族に感謝します。

### 新入団員教育



#### 新入団員として

第3分団 団員 石原由賀里

幼い頃から、何事にも責任を持って取り組む父を見てきました。父が消防団に入団し、仕事と両立しながら活動する姿は今でも尊敬しています。そんな父を支え続けている母は強く、私の憧れでもあります。

私が入団を決意したのは、ずっと尊敬してきた父に少しでも近付きたい、母の様な強い女性になりたいと思ったからです。

新入団員研修を受け、体力面でも精神面でも、まだまだ乗り越えなければならぬ点が多々あり、挫折しそうにもなりましたが、父をはじめ、沢山の方々が熱心に指導して下さい、少しずつでも技術や知識を身につけ、地域に貢献していけたらと思いました。

未熟な私には、仕事との両立がまだ難しく、なかなか活動にも参加できていませんが、富士市の女性消防団員として責任を持ち、指導していただいた事に無駄にしない為にも、進んで活動に参加し、努力していきたいと思えます。宜しくお願いします。

### 「新入団員教育」をうけて

第12分団 団員 花田 真紀  
中野 在住



二〇一四年五月二十五日、富士市役所にて新入団員教育が行われ、私は第十二分団の新入団員として参加しました。

午前前半は消防団の概要や活動内容、消防団員としての責任や心構えなどの説明を受けました。これまで消防団の活動を目の当たりにすることが少なかった私にとっては、とても新鮮で参考になる内容でした。

午前後半は部隊訓練の教育として、指導員の方々から基本的な訓練儀式を教えて頂きました。新入団員一人ひとりに丁寧に指導してくださり、基本的な訓練儀式は覚えることができましたが、繰り返し訓練することが大切だと感じました。

午後は小型ポンプ操法、ポンプ車操法が行われ、指導員の方々模範演技を拝見することができ、日々の訓練の大切さを実感いたしました。火災が起こらないように活動していくことも消防団として大切なことですが、今後は実際の火災現場で足手まといになることのないように日々訓練を重ねていきたいと思えます。二〇一三年九月に第十二分団に入団し

### 消防団員になって

第8分団 団員 高橋 智巳  
比奈 在住



私が消防団に入団したのは平成十二年四月です。入団して早くも十五年が経ちました。

何故、消防団に入ったかと言うと、大学を卒業して地元に戻り、社会人になって五年が経ったころでした。地元との繋がりが殆ど無くなってしまっていたところに、消防団の諸先輩方からの勧誘があり、興味津々で入団しました。

入ってみると、先輩や同年代の人たちとの交流がだんだんと楽しくなってきました。

出初式、消防まつり、訓練式大会、早朝の方面隊での放水訓練、冬季には夜警。また地域活動では防災訓練、夏

てから約半年間、なんとなく消防団の活動に参加していましたが、今回の新入団教育を受けて、今後は積極的な気持ちで地域の防災活動に参加していきたいという気持ちになりました。

また、市外で仕事をしていることもあり、これまで火災現場に行ったことはありませんが、実際に火災現場にいったときのために訓練を重ねていきます。

祭りや姫名の里まつりの警備、文化祭参加などがあります。火災等が発生した際には出場し消火活動を行っています。

平成二十六年には訓練礼式大会が行われました。訓練礼式に六人が参加し大会までの間、数多くの練習を行い見事優勝へと導いてくれました。平成二十七年には支部大会があります。優勝を目標に頑張ってもらいたいと思います。

その昔、私も平成十五年には、この訓練礼式に参加し毎回の練習には欠かさず出席して、大会では市・支部と優勝でき県大会に出場することができました。

近年では地震等の自然災害が多く発生しています。私自身、仕事では出張が多くなかなか時間がありませんが、地域の人達とのコミュニケーションを取れるように、消防団活動を通じて地域に密着していきたいと思っています。

今は、家族がいて子供がいます。そんな中でこんなことを頑張っている父親の姿も見たいと思います。

まだまだ消防団の活動を知らない人が多いので、周知しながら大勢の人たちで活動できたら良いと思います。

## “あなたの「力」が必要です!!” 消防団員募集

あなたの町を自らの手で守りませんか  
地域の「絆」で救われる命があります

**問合せ先**  
消防総務課消防団担当、または各消防分団  
電話：0545-55-2852 (消防総務課)

### 新ポンプ車納車



#### 消防車入魂

第4分団 班長 前田 和徳  
消防士 榎マエタ 勤務

十一月二十六日、我が分団に新型消防車両が納入されました。真新しい真紅のボディ、最新式のポンプ装置、胸躍る気持ちで引渡し完了、新型車両の変速機はマニュアルからオートマチックに変更です。

これまで、AT限定により運転不可だった団員も運転可能となります。旧型車両は現役時代に幾度となく不調をきたし、使用限界気味でしたが、二十一年もの長い期間地域を守り続けてきました。感謝の気持ちを込めての別れとなりました。

【今までありがとう・・・】  
入魂式を三日後に控えた日、まさかの出勤要請。不幸中の幸い、火事は大事には至らず水出しは行われませんでした。雨に濡れた新型車両を、団員達が心を込めて拭き上げました。

そして迎えた晴天の下で行われた入魂式。  
我が分団の期待の団員達と、真新し

い消防車両の操法デモンストラーション。いつも以上に動きの良い団員達、さすが新型車両と言うところでしょうか。地域住民の安心と安全を守る為に、不測の事態に日夜備え頑張っていることと身の引き締まる思いがしました。これからも夜警・巡回・火災現場など、新型消防車両の力をフルに活用していきます。



#### 新消防ポンプ車導入にあたり

第17分団 分団長 大久保 邦雄  
消防士 宮島 在住

我が第十七分団に、平成五年以来十二年ぶりに新消防ポンプ車が配備されました。

関係各位のご尽力により引き渡し式を経て、最新の消防ポンプ車を迎えることができました。

入団した時は、四トン車のコンドルで、二台目がマニュアル車でした。自分が分団長になって三台目、オートマチック車になりました。旧ポンプ車に比べ扱いやすくなった事で団員も喜んで運転するようになりました。

最新鋭の消防ポンプ車を配備していただいた事に喜びを感じると共に、これからの消防団活動に役立て、地域防災を心がけ、精進していかなければならない

と考えずにはいられません。

昨今、消防団活動についても多様化されていて、消防活動のみでなく、予防活動、普通救命の促進、地域との連帯が必須となっております。

今、一番の悩みは、新入団員の入団希望者が少ないことです。一人でも多くの方に消防団活動を理解していただき、若き力を貸していただければ幸いです。

そして、全団員が、一致団結し、最新鋭消防ポンプ車と共に地域防災の為に活躍出来れば有難いと思います。

### 夜警巡回

#### 消防団に入って

第25分団 団員 原田和幸  
消防士 榎東静プロパンガス 保安センター 勤務

私は、平成二十六年九月に入団し本日まで、いくつかの活動に参加させていただきました。ただいまですが、今まで消防団の活動に関わる事がなかった私には、何もかも新鮮でありました。

特に平成二十七年二月十一日の出初式で初めて訓練礼式、小型ポンプ操法とポンプ車操法の模範演技を拝見し、その姿に胸が熱くなりました。

また、十二月より始まった夜警では巡回等を通じて、ポンプ車の操作の仕方や火災予防について、様々なことを先輩団員より熱心に指導頂き、少しずつではありますが早く足を引く張る事のないようになりたいと感じました。

しかし、入団してから初めて出勤した火災では、負傷者だけでなく亡くなられた方もおられました。私は現場に到着してからは、する事もわからず右往左往しているばかりでなにも知らぬまま出勤してしまっただけの自分、不甲斐なさを痛く感じました。

仕事の関係上、昼間の活動にはあまり参加することが出来ておりませんが、指導員や先輩団員の指導してくださる事をよく守って、早く一人前の団員になれるよう訓練に励み、出来る限り積極的に活動に参加し、消防団に貢献していきたいと思っています。



#### 夜警

第24分団 団員 小松 翔  
消防士 トーヨーカラー(株) 勤務

私が消防団に入団してから、二度目の夜警の季節がやってきました。富士市消防団では毎年、一月から二月までの約三ヶ月間を特別警戒期間として、夜警を実施しています。午後八時から九時にかけて巡回を実施し、巡回終了後、詰所に十二時まで待機します。

私たちが二十四分団は団員数が少なく、現在は二班三人の五班編成で夜警を行っています。また、三交代勤務の方が約半数を占めているため、団員全員で協力し合い活動しています。

火災はいつ発生するかわかりませんが、些細なことが、大きな火災へと発展してしまうケースも珍しくありません。特に二月から三月というのは一年のなかで特に火災発生リスクが高まる期間であり

ます。「カーンカーン」と鐘の音が聞こえたら、今一度火の元の確認を宜しくお願い致します。今後も地域のために団員全員で協力し合いがんばっていききたいと思っております。

新消防車披露式にて



富士市まとい会  
会長 大沼章男

平成二十六年秋、第四分団新消防車の披露式に分団のOBとして出席しました。

前消防車は二十一年前、私が分団長のときに更新した車両で、入団していた当時の活動を思い出し、感慨を新たにしました。

私は昭和三十四年十二月に伝統ある第四分団(明治元年創設富士市消防史)に入団しました。

入団7ヶ月前に、私の町内で製紙工場や住宅など十六棟を全半焼する火災が発生し、当時、町内の青年消防隊だった私は消火活動に参加しました。

その後、分団から勧誘を受け入団し、先輩団員の指導を受けながら活動しました。夜警のとき、先輩と出動や消火活動の話をしていたところ、昭和二十五年に発生した熱海の大火に出動したことを知り驚きました。当時は市内全域サイレンを聞くと二斉に出動し、詰所の壁に大きな出席表があり、私も多いときは年間四十回近く出動していました。

四十年に及ぶ団員活動の中で一番印象に残っているのは、富士市消防団訓練礼式選抜チームの一員として県大会に出場

したことです。

連日の猛特訓に耐えて出場したことは、その後の消防団活動のなかで一番の経験でした。

平成十二年に消防団長で任期を終え、同年四月、消防職団員のOBで組織する富士市まとい会に入会しました。

まとい会の年間の行事は、一月の出初式から始まります。百余名の会員が、毎年、輪番制で甘酒を作ります。前日から仕込んだ温かい甘酒は、寒いなか来場していただいた皆様に大変喜ばれています。

そのほかの活動としては、年間を通しての災害ボランティア連絡会議への出席、総合防災訓練への参加、消防団訓練大会の応援や優勝隊への表彰などがあります。

また、十一月の消防まつりでは、毎年、蔵出しバザーを出店しています。本年はバザー用品のほか、会員が持ち寄った農産物「柿、キウイ、栗」などを出品したところ、大変好評で、出店コンクルの最優秀賞を受賞しました。蔵出しバザーの収益金、四万二千八百九十円は市の福祉基金に寄付しました。寄付金は、平成十四年から十三回目で、総額三十七万二千九百八十八円となりました。我々富士市まとい会は、これからより一層会員同志の親睦を図り、地域社会に奉仕貢献して参りたいと思っております。



富士市消防団協力事業所  
平成27年3月現在

- 1 富士市農業協同組合
- 2 鈴木工業
- 3 富士トラック株式会社
- 4 株式会社三和工務店
- 5 足場屋 勇仁
- 6 有限会社 佐野商事
- 7 佐野晶彦 (不動産業)
- 8 平松建築

※登録順



富士市消防団協力事業所表示制度

事業所の消防団活動への協力が社会貢献として広く認められると同時に、事業所の協力を通じて、地域防災体制がより一層充実されることを目的とした制度で、複数の従業員を消防団員として入団させている事業所や、水火災等の災害時に事業所の資機材を消防団に提供する等の協力をするなど、消防団活動に積極的に協力している事業所その他の団体に対して、消防団協力事業所表示証を交付します。

また、認定を受けた事業所は、取得した消防団協力事業所表示証を敷地、建物等に表示できる他、パンフレット、チラシ、事業所ホームページ等にてPRすることができ、事業所のイメージアップにもつながります。

カラーガード隊  
隊員募集中  
FUJI RED FAIRY

連絡先

消防本部消防総務課

電話番号 0545-55-2851



編集後記

消防団だよりを発行するにあたり団員の皆様、団員ご家族の皆様より多数の原稿を今年もお寄せいただいたことに、厚くお礼申し上げます。

皆様の原稿を拝読しまして、消防活動に対する切実且熱心な姿勢、家族の皆様への心温まる気持ちが伝わってきました。

さて、平成二十六年度は、富士市消防団にとって大きなニュースが二つありました。一つは村松団長が就任したこと、もう一つは、富士市消防団に初めて女性団員が入団したことです。富士市消防団の歴史に新たなページが刻まれました。

近年、全国的にも消防団員数の減少が進むなか、地域防災の担い手として消防団員の存在は重要です。これまでの歴史を受け継ぎ、また新たな歴史を作るため、この消防団だよりが団員各位の意識の高揚と団結心が養われることを祈念すると共に、市民の皆様様に消防団活動を少しでも理解していただき二人でも多くの消防団員を増やすことができますようご協力をいただければと思います。

今後も皆様に親しまれる紙面作り而努力して参りますのでご支援、ご協力をお願い申し上げます。

広報紙編集委員長

富士市消防団広報紙編集委員会

委員長 団本部 第三方面隊長 鈴木 貴之

副委員長 団本部 副総務部長 渡邊 明夫

委員 第二十五分団 班長 鈴木 信一  
第四分団 団員 佐野 晶彦  
第十一分団 係長 石川 和彦  
第十三分団 班長 福島耕一郎  
第二十六分団 係長 斉藤 正道  
第二十三分団 班長 横内 信幸  
第三十一分団 係長 神戸 邦明